

弘前城石垣修理

第28回 ～いよいよ弘前城天守曳戻し～

重要文化財の弘前城天守が、11年ぶりに天守台に戻ります。8月21日(金)～28日(金)までは曳戻しイベント「ひっぱれ! けっぱれ! 弘前城」を開催します。21日(金)はプロジェクションマッピングやドローンショーなどのオープニングセレモニー、22日(土)・23日(日)は天守曳戻し体験や内濠内覧、謎解きクイズラリーなどの各種イベント、24日(月)～28日(金)は天守曳戻し疑似体験撮影スポットを開放します。詳細は曳戻しイベントのホームページをご覧ください(※1)。

天守曳戻し工事は、令和7(2025)年10月に着手しており、令和7年度は、本丸南側への仮設通路設置(※2)、天守内部の養生、仮補強用鉄骨および床板の取外し(※3)などを行いました。令和8(2026)年度は、「弘前さくらまつり」後から天守揚家の準備作業に入り、6月12日に油圧ジャッキを使用して仮天守台から天守を切り離し、土台下に鉄骨、ローラー、レールを設置して6月29日から移動を開始しました(※4・5)。今回の天守曳戻しは、平成27(2015)年度に実施した曳家のルートを進むもので、約78mの距離を約6カ月かけて移動します(※6)。工事の進捗(しんちよく)状況については、弘前城本丸石垣修理事業のホームページでお知らせしています。また、工事は公開型となっておりますので、11月下旬頃まで本丸南側の展望デッキからご覧いただけます。

天守が元の天守台に戻った後は、天守本体の耐震補強と約70年ぶりの保存修理工事を予定しています。現在の計画では、令和9(2027)年に天守修理の調査・設計を行い、令和10(2028)年秋頃から工事に着手、完成後の天守内部の公開は令和15(2033)年4月から再開する予定です。



▲(※4) 揚家用ジャッキ設置状況



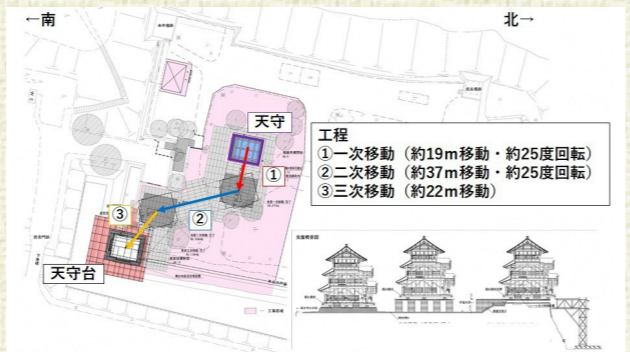
▲(※5) 揚家の様子(天守北東角、6月12日午前11時時点)



▲(※2) 仮設通路の設置



▲(※3) 仮補強鉄骨と床板の取外し(天守1階)



▲(※6) 天守曳戻しルート

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前市緑の相談所内、☎33-8739)



▲弘前城本丸石垣修理事業



▲弘前城かわら版



▲(※1) 曳戻しイベント

フォトコロ

各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします!

ひろさき

5月
29日

令和8年度 特別企画展
ワンダー・アニマルズ 開会式
市立博物館(下白銀町)



動物を題材にした絵画を中心に、ガラスや彫刻など68点を展示。開会式の後は、学芸員による作品紹介が行われました。

5月
29日

弘前ねぶた in 神戸 2026

兵庫県神戸市



昨年に引き続き「神戸ハーバーランド umie モザイク前」にて、展示とねり歩きなどを実施し、弘前ねぶたの魅力を伝えました。

6月
1日

ツキノワグマ緊急銃猟訓練

城東公園(末広4丁目)他



市街地にクマが現れた状況を想定した緊急銃猟の図上訓練と実地訓練を実施し、駆除までの手順を確認しました。

6月
6日

弘前市合併20周年・平川市市制施行20周年・陸奥新報創刊80周年記念
第28回津軽路ロマン国際ツーデーマーチ
市立観光館(下白銀町) 追手門広場 他



初夏の津軽路を舞台にウォーキングイベントを開催。参加者たちは、津軽ならではの街並みを堪能していました。

6月
6日

弘前公園 のんびりコケ散歩

市民会館(下白銀町) 他



コケの魅力や生態を学んだあと、参加者たちはルーペを持ちながら、弘前公園を散策し、コケの観察を楽しみました。

6月
6日

弘前市水道週間イベント

えきどてプロムナード(駅前町) 他



子どもたちは思い思いにメッセージなどを水道管に書き込み、楽しんでいました。この管は、後日古い水道管と入れ替えられます。